



きずな

第82号

令和8年第2回臨時会
令和8年第2回定例会

●発行／合志市議会
●編集／議会広報調査特別委員会
●〒861-1195 熊本県合志市竹迫2140
●TEL 096-248-2038
FAX 096-248-2047
E-mail: gikai@city.koshi.lg.jp
令和8年8月20日発行

地域とともに育つ、合志のこどもたち



合志市では、学校と地域が力を合わせてこどもたちを育む「地域学校協働活動」が行なわれています。地域学校協働活動推進員を中心に、地域の皆さんのご協力をいただきながら、伝統文化の継承や体験活動、ボランティア活動など、地域ならではの学びの場が広がっています。こうした活動を通して、こどもたちは地域とのつながりを深め、ふるさとへの愛着や社会性を育んでいます。今回は、合志中学校と西合志中学校の取り組みをご紹介します。

合志中学校



合志中学校では、地域で活躍する方々を講師に迎えたキャリア教育講演会を実施しています。様々な職業や生き方に触れることで、生徒たちは将来について考え、自らの進路や夢を描く機会となっています。また、地域ボランティア活動や清掃活動、地域イベントでの発表活動などを通して、地域とのつながりを深めています。

西合志中学校



西合志中学校では、地域の方々（合志市食生活改善推進員）を講師に迎えた郷土料理教室を実施しています。地域に受け継がれてきた食文化や暮らしについて学びながら、ふるさとへの理解や愛着を育んでいます。また、地域清掃活動や地域行事への参加、門松づくりなどの活動を通して、地域との交流を深めています。

合志市議会 第2回臨時会

4月30日 開会

質疑・討論・採決

議案5件

合志市議会 6月定例会の流れ

6月1日

開会

市長による所信表明及び議案について提案理由の説明

6月3日・6月4日

一般質問

6人の議員による一般質問にて市政を質す

6月8日

質疑・付託 予算決算常任委員会

議案に対する質疑の後、各所管の委員会へ付託
予算関係事件の質疑の後、各所管の分科会を設置し、分担付託

6月9日

各常任委員会・分科会

各常任委員会・分科会にて議案の審査

6月15日

予算決算常任委員会

分科会長報告、自由討議による質疑と総括質疑事項選定

6月19日

予算決算常任委員会

総括質疑、討論・表決

6月23日

討論・採決 閉会

各委員会からの審査報告の後、討論・採決
(結果は6面の賛否表参照)

もくじ

CONTENTS

- 表紙……………1
- 6月定例会の流れ……………1
- 一般会計補正予算、条例改正、人事案件、契約締結、その他の議案、意見書……………2
- 常任委員会・分科会の審査概要……………3
- 視察委員長報告、行政視察、議員表彰……………4
- 一般質問、消防団表彰、20周年記念式典……………5
- 賛否一覧表、次回定例会日程、編集後記等…6

令和8年度 一般会計補正予算

総額 331億3,368万3千円

第1号 5億7,369万8千円（増額）

第2号 1,301万5千円（減額）

第1号

主なもの

●“動物との共生”“癒し”の里こうし構想策定業務委託 3,297万8千円

「癒し」をテーマに「動物」「ペット」「福祉」などを切り口としたまちづくりの基本構想業務委託を行なうためのもの

●商工費 1,697万円 セミコンテクノパーク周辺の環境を整備するためのもの

●土木費 1億3,456万円 栄温泉団地13号線などの市道を改良するためのもの

●消防費 1億4,716万5千円 新たに防災アプリを導入するためのもの

●教育費 5,764万4千円 市内小中学校体育館の断熱改修や空調設備の設計、学校施設の修繕を行なうためのもの

第2号

●商工費 ▲2,207万6千円 東部工業団地の財産売却収入に伴い合志市工業団地整備事業特別会計への繰出金が不要になったことにより工業団地整備事業から減額するもの

条例改正

可決

合志市手数料徴収条例の一部を改正する条例

コンビニ交付サービスにおいて新たに戸籍に関する証明書の追加を行なうこと、及び農業経営基盤強化促進法に基づく嘱託登記から農地中間管理事業法に基づく手続きへ一本化されたことによるもの
他1件

契約締結

可決

合志市新学校給食センター厨房機器
製造請負に係る物品類売買契約 5億3,495万9百円

合志市恵楓園運動公園野球場新設工事請負契約
3億8,280万円
他5件

人事案件

同意・適任

合志市固定資産評価審査委員の選任 後藤 博氏(再) 鈴木 亜矢氏(再)

合志市教育委員会委員の任命 松永 勇氏(新)

合志市人権擁護委員候補者の推薦 岩根 浩氏(再)

その他の議案

可決

指定管理者の指定

合志市総合健康センター「ユウパレス弁天」の管理方法が指定管理者による管理運営を行なうことになり、合志市指定管理候補者選定委員会の審査を受けた、株式会社ビーバーレコードを指定するもの
他3件

議員提出議案

セミコンテクノパーク近隣における渋滞対策の強化に関する意見書

合志市においては、セミコンテクノパークを含め菊池地域に立地する企業の従業員の通勤や物流等に伴う渋滞の常態化が長年続いております。そのような中、本市に隣接する菊陽町に世界的な半導体受託生産企業TSMCが進出して以降は、渋滞に拍車がかかっております。周辺道路における渋滞対策は、行政が対応すべき喫緊の重要課題としてクローズアップされてきました。

このため本市においては県と同様に、半導体産業の集積に向けた全庁横断組織及びプロジェクトチームを立上げ、課題となっている渋滞対策について、市道竹迫・第二テクノ線の改良、上群中林線の延伸及び拡幅改良などの対応に取り組んでおります。県においても、県道大津植木線の多車線化、仮称合志ICアクセス道路の新設整備及び国道387号の改良に向けた検討に取り組んでいただき、感謝申し上げます。

一方、「くまもとサイエンスパーク」事業推進パートナー基本協定の締結を熊本県・三井不動産の3者で行い、イノベーション創発エリア（約31ha）の中心地を本市において開発することとなっております。またソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社が本市に熊本新工場の竣工と、TSMCとの次世代イメージセンサーに関する戦略的提携に向けた基本合意を発表しております。今後もこの周辺地域に半導体関連企業を中心に更なる進出が想定されます。市民からは、地域の発展を期待する反面、渋滞の悪化や事故の増加といった懸念の声も上がっています。

県が掲げております分散型・サイエンスパーク構想におきましてはエリア間の円滑な交通が必要不可欠であり、地元住民の交通渋滞などに対する不安の解消は喫緊の課題であります。本課題解決への取り組みには広域的な整備検討が必要であることから、本市議会は、下記の支援を県に対して強く要望します。

記

- エリア間のギャップのない円滑な交通環境を実現するため、県道大津西合志線多車線化整備の事業化に取り組むこと
- 前項の推進に加え、今後の半導体産業の需要成長に鑑み、同エリア路線にBRT等（大型輸送機関）の導入も可能な公共交通計画策定に向けた協議を開始すること

以上、地方自治法第99条に基づき意見書を提出します。

令和8年6月23日

熊本県知事 あて

提出者…合志市議会議員 坂本 武人
他12名

すべてのケアラーに対する包括的な支援と法的枠組みの整備を求める意見書

近年、家族等の介護や世話を無償で担う「ケアラー」の負担が深刻な社会問題となっている。ケアラーが抱える問題は、肉体的な疲弊にとどまらず、精神的な孤立、経済的な困窮、そして学びや就業の機会喪失など、人生のあらゆる局面に多大な影響を及ぼしている。とりわけヤングケアラーについては、法改正により、国および地方公共団体による支援が法的に義務付けられたところである。

一方で、ケアラーは子どもに限られるものではなく、働きながら家族を介護するワーキングケアラー、育児と介護を同時に担うダブルケアラー、高齢の配偶者を支える高齢ケアラーなど、その実態は多様化・複雑化しており、誰もが当事者となり得る状況にある。

国においても、「経済財政運営と改革の基本方針2025」において、年代や就労の有無を問わずケアラー支援の必要性が明記されたが、現在の取組は地方公共団体への支援にとどまり、ケアラー全体を対象とした包括的な法制度は未だ整備されていない。

現在の支援は、介護、障害、子育てなどの制度の枠組みごとに分かれており、ケアラー本人への支援は十分とは言えず、地域や自治体によって支援内容にも差が生じている。よって、国においては、すべてのケアラーが個人の尊厳を保ち、社会から孤立することなく、安心して生活し、就労や学びなど社会参加を継続できるよう、下記の事項について速やかに取り組むよう強く求める。

記

- ヤングケアラーに限らず、すべてのケアラーを対象とした包括的な支援の基本理念を明確にすること。
- ケアラーを支援するための実態把握、相談支援、情報提供、休息の確保等について、分野横断的に取り組む法的枠組みを整備すること。
- 地方公共団体が地域の実情に応じた支援を安定的に実施できるよう、必要な財政措置を講じること。
- ケアラー支援に関する国民の理解を深めるための普及啓発を推進すること。

以上、地方自治法第99条に基づき意見書を提出します。

令和8年6月23日

内閣総理大臣 厚生労働大臣 文部科学大臣
内閣府特命大臣（こども政策） 財務大臣 あて
提出者…合志市議会議員 大塚 薫
他12名

常任委員会・分科会の審査概要

総務

委員長 後藤 祐二
副委員長 大塚 薫
委員 坂本 武人
委員 後藤 修一
委員 齋藤 正昭
委員 辻 大二郎

【常任委員会】 合志市手数料徴収条例の一部を改正する条例

財政課

- 問 過去5年間で農業委員会が嘱託登記を行なった件数と手数料収入の実績は。
- 答 令和2年度から令和6年度の5年間で合計140件、手数料収入の合計は42万円である。

【分科会】 令和8年度合志市一般会計補正予算（第1号）

総務課

- 問 保健指導等面談委託事業に期待する成果は。
- 答 職員が相談しやすい環境を整え、心身の不調の早期対応につなげるものである。

管財課

- 問 入札参加資格申請システム導入による業務改善効果は。
- 答 これまで必要であった約1,800件の申請データの手入力作業が不要となる。

安全安心課

- 問 消防団へのドローン免許取得支援の対象者選択方法と運用体制は。
- 答 ドローン免許取得後も消防団活動を10年程度継続できる方を対象に募集する予定である。運用体制は操縦者、副操縦者、補助者の3名を1班とし、市内を4地域に分けて各地域へ1班ずつ配置する計画である。
- 問 防災アプリ導入に関する市民への周知の方法は。
- 答 広報誌やホームページへ掲載、各世帯へのチラシ配布の他、防災アプリに関する出前講座の実施等を検討している。

6月9日 現地調査

ヴィーブル正面
玄関前雨庭



文教経済

委員長 辻 藍
副委員長 中元 緑
委員 吉永 健司
委員 上田 欣也
委員 濱元幸一郎
委員 澤田 雄二

【常任委員会】 合志市道路線の廃止

建設課

- 問 くまもとサイエンスパーク計画地内の路線が廃止になるが、今後の路線の管理は。
- 答 5月に造成工事が着手されており、新たに整備された道路は市が管理を行なう計画である。

【分科会】 令和8年度合志市一般会計補正予算（第1号）

学校教育課

- 問 西合志中央小学校施設検討委員会の委員の想定は。また、公募は検討しているのか。

- 答 要綱では20名以内としており、学識経験者、地域住民代表者やPTA関係者、校長先生を想定している。公募の必要があるかも含め検討したい。

農政課

- 問 今回補助金返納が発生した農業者の営農期間、および離農に至った経緯は。
- 答 平成29年度から5年間、補助金の交付を受け、交付終了後に義務付けられている5年間の営農継続期間のうち、2年が経過した時点で離農したものである。その間、県及び市の営農指導員が営農継続に向けた面談等を重ねてきたが、本人の意思が固く離農に至った。

健康福祉

委員長 永清 和寛
副委員長 村上 香織
委員 来海 恵子
委員 西嶋 隆博
委員 青山 隆幸
委員 犬童 正洋

【常任委員会】 令和8年度合志市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

福祉課

- 問 子ども子育て支援納付金の歳入について、補正予算計上の趣旨は。
- 答 子ども子育て支援納付金分の課税について、保険税改正に係る条例改正が3月の専決処分によってなされたことに伴い、歳入見込額を計上したものである。

【分科会】 令和8年度合志市一般会計補正予算（第1号）

こども未来課

- 問 合志南小学校周辺は人口増加が続いているが、普通教室を放課後児童クラブへ転用することで、将来的に不足し、教育環境に支障を及ぼす恐れはないか。

- 答 教育委員会の推計によれば、当該小学校の児童数は今後、横ばいとなる見込みであるため、支障はない。

こども家庭課

- 問 ふたりの健康と未来応援助成事業（不妊検査費助成）の周知方法は。
- 答 市ホームページや広報紙、こうし子育てアプリ「Kokoa」による情報発信に加え、本市に婚姻届を提出した夫婦に対してチラシ配布を予定している。

高齢者支援課

- 問 ふれあい館の建物等状況調査の目的は。
- 答 根本的な老朽化対策が必要と判断し、今後の大規模改修等の準備として調査を実施するためである。

健康ほけん課

- 問 インフルエンザワクチン接種の助成について、年間を通じて受けられるのか。
- 答 助成対象期間は10月から12月である。

予算決算

【審査日程】

- 令和8年6月8日 全体会 質疑および分科会（総務分科会・文教経済分科会・健康福祉分科会）を設置し、付託事件の審査を行なうこととした。
- 令和8年6月9日 分科会 3分科会による審査を行なった。
- 令和8年6月15日 全体会 分科会長報告を行ない、自由討論を経て総括質疑事項を決定した。
- 令和8年6月19日 全体会 執行部に対する総括質疑の後、討論、表決を行なった。

（1）防災アプリ導入事業の計画性と運用方針について

- 問 ① 本事業の導入目的と現状の課題認識について
② 事業の計画推進と財政負担について
③ 導入後の情報伝達体制の運用と成果目標について
④ 議会への説明責任について
- 答 現行の防災行政無線は、大雨や防風時の伝達性や、空白地帯の存在などに加え、維持管理や更新の財政負担などが課題となっている。これらを解消し、情報の到達率と即時性を高めるため、スマホ向け防災アプリを基軸とした新システムへ移行する。アプリの導入にあたっては、令和8年度に事業者選定と構築を行い、令和9年度の屋外スピーカーとの並行運用を経て、令和10年度に完全移行する計画である。10年間の総経費として、約4億円を見込み、無線更新時と比較して約10億円の経費削減が可能となる。今回の防災アプリ導入事業は単なるツールの追加ではなく、一括配信システムによる体制の再構築である。アプリをメインツールとしつつ、防災メールやLINE等との連携を図る。スマホ未保持者や福祉施設等には戸別受信機を貸与し、「誰一人取り残さない防災」を堅持する。普及目標として、まずは世帯に一人のアプリ登録を目指し、これを段階的に引き上げていく。今後の進捗、運用実績、効果検証については、令和8年8月の業者決定以降、段階的に議会へ報告していく。

（2）阿南市との姉妹都市協定の戦略性と将来的な財政負担について

- 問 ① 阿南市との姉妹都市協定について
② 今後の交流事業と予算措置について
③ 事業実施後の検証について
④ 中長期ビジョンと将来の展望について
- 答 令和元年から続く阿南市との交流を、単なる友好関係に留めず、両市に共通するテーマである人権と防災を軸とした戦略的提携へと発展さ

せるべく、姉妹都市として協定を締結。両市に共通する「ハンセン病隔離政策の歴史」と「人権回復の継承」から、次世代へこの問題を繋ぐとともに、熊本地震の経験と南海トラフ地震への防災体制との知見を共有することで、地域防災力の向上と相互支援体制の構築を図る。現時点での交流事業としては、中学生の学習交流、危機管理部門による防災マニュアルの共有、物産交流などの交流事業が考えられ、段階的に交流の拡充を図っていきたい。交流事業の検証にあたっては、満足度や意識変化、データの活用事例などの多面的な成果指標を設定する。定期的に交流内容を確認・見直すサイクルを確立し、行政施策の質を向上させる実務的な連携を追求していく。今後については、まずは実務者レベルでの基盤を固め、中長期的には教育・産業・観光等を含む幅広い分野での相互利益の創出を目指す。両市民が主体的に参加し、互いの都市を身近に感じられる持続可能な関係性を構築していく。

（3）中九州横断道路の雨水排水計画について

- 問 ① 中九州横断道路の雨水排水計画の現状について
② 関係機関等との協議調整及びその必要性について
- 答 中九州横断道路における本市内の事業区間約13.8kmは複数の排水区域に分割され、道路設計に基づく排水計画を策定している。現在、大部分の区間で流出先の用途は立っている。しかしながら、「丸内の堤」付近への排水区域のみ、下流域で越水被害が頻発していることから流出先が未確定である。市は現状での流入は困難かつ危険との認識の下、国に対し、単なる道路排水の放流に留まらない、地域への影響を考慮した適切な対策案の提示と再検討を求めている。市としては、将来にわたり地域へ過度な負担を強いることのないよう、関係部署や施設管理者と緊密に連携し、水害防止を考慮した具体的な提言や粘り強い協議を継続していく。

議会広報特別調査委員会視察研修報告

令和8年5月20日～21日

埼玉県戸田市役所

「とだみらい会議について」

とだみらい会議は、令和4年の「市民との意見交換会の創設」をきっかけに開催されている。

第1回は、コロナ禍のため、Zoomを活用したオンライン形式で実施。第2回は、対面形式で中学生との意見交換会を行ない、第3回からは、夏休み期間に「議場見学ツアー」形式を取り入れた。対象を小学生にも拡大し、夏休みに開催することで保護者も見学・参加しやすくなり、議会理解の促進・波及効果も見られた。

本委員会も、若年層への広報強化を検討しており、小中学生との意見交換会や議場体験ツアーなど、参加しやすい可能性を追求する広報活動の一環として非常に参考になった。



千葉県市川市役所

「こども向け広報について」

市川市は、令和2年から専門職としてクリエイター職員を採用しており、現在5名体制となっている。ディレクターチームには、テレビ局出身者も在籍しており、企画・編集・配信など一貫してクリエイター職員が担う事で、クオリティが高く、市民が視聴しやすい内容となっている。動画は月1回程度更新を行なっている。また、対象年齢を明確にし、視聴者を意識した情報発信を行なっている。本市においても、本年5月に「合志市紹介動画」が市のYouTubeチャンネルに掲載されたところである。議会広報においても、若年層への情報発信が課題となる中で、動画や公式SNSの運用など、対象者を意識した情報発信を検討する上で、非常に参考となる研修であった。



予算決算常任委員会視察研修報告

令和8年5月26日～28日

広島県東広島市役所

「産学官民連携における財政計画等への取り組みについて」

広島県東広島市では、大学を地域課題解決の中核に置く「タウンアンドガウン構想」を展開。官・民・学の緊密な連携と、中期財政運営方針に基づくコストマネジメントにより、自律的なまちづくりを進めている。本市におけるくまもとサイエンスパーク構想やソニーの新工場建設等の大規模プロジェクトが、単なる一過性のブームに終わらないよう、将来を見据えた持続可能な都市経営の監視役として、長期的視点を持った予算審査の重要性を再認識した研修であった。



広島県三次市役所

「予算決算常任委員会における審議について」

広島県三次市議会では、全議員が所属する予算決算常任委員会において、分科会と全体審査を組み合わせた審査を実施。また、審査の可視化を図るため、事業の目的や成果指標をまとめた「事業別審査シート」を導入し、決算での課題を予算へ反映させる仕組みを構築している。本市における行政評価機能の強化や情報の共有化を図る上での審査手法をあらためて学ぶことができた。



野村證券広島支店

「行政の各種基金における証券等での資産運用について」

野村證券広島支店にて、金融政策の転換に伴う金利上昇局面における公金（基金等）運用のリスク管理を学んだ。インフレ局面では預金などの運用は実質的な価値を損なうリスクがあるため、国債や地方債の活用等による「機会損失」の回避が求められる。市が行なう公金運用については、市民の貴重な財産を守る観点から、運用状況やリスク管理体制等を、継続的に注視・監視していくことの必要性をあらためて学んだ。



行政視察を受け入れました

視察日	議会名	視察の目的	議会対応者
5月7日(木)	東京都足立区議会 公明党	株式会社こうし未来 研究所について	青木照美議長 後藤祐二総務常任委員長
5月13日(水)	佐賀県唐津市議会 市民厚生委員会	子育て支援の取組み について	青木照美議長 永清和寛健康福祉常任委員長



東京都 足立区



佐賀県 唐津市

議員表彰

第102回全国市議会議長会定期総会において後藤修一議員、西畠隆博議員が議員在籍15年の表彰を受けました。

また、青木照美議長が全国市議会議長会評議員としての貢献に対して感謝状を授与されました。



後藤 修一 議員



西畠 隆博 議員



青木 照美 議長

一般質問

各議員の一般質問の様子は、QRコードでインターネット録画をご覧ください。



中元 緑議員

転換期における学校給食の在り方

問 無償化、公会計化、新給食センター整備という転換期にある中、市としてどのような学校給食を目指していくのか。また、公会計化に伴う運営上の課題をどのように考えているのか。

答 市独自の予算を上乗せし、栄養バランスや満足度を落とすことなく給食を提供している。今後も安全安心で安定的においしい給食を提供するとともに、公会計化においては、質の高い食材を

安定して確保することと、市の厳格な契約ルールをどう両立させるかが鍵となる。地場産品の活用や鮮度、品質を正當に評価し、購入できる仕組みを整え、質の高い学校給食の提供と透明性の高い情報発信に努める。

その他の
質問事項

・所信表明について



青山 隆幸議員

熊本地震10年、明日への備え！

問 熊本地震から10年が経過した。地震直後から言われて来た、市役所各部門における業務継続計画（BCP）の策定状況・更新状況・訓練状況はどうなっているか。

答 庁内BCPや下水道BCPは作成済である。訓練や更新もそれぞれで行なっている。上水道BCPについては未策定である。

問 熊本地震の際、水道水が濁って市民は大変な思いをした。市民の大切な命の水である。早急にBCPを作成し災害時に備えていただきたい。

答 上水道の緊急時対応マニュアルは設定されている。BCP作成は今後検討する。

その他の
質問事項

・オンライン申請について
・防犯カメラについて 他



澤田 雄二議員

サイエンスパーク イノベーション創発エリア

問 三井不動産、県、本市でイノベーション創発エリアのパートナー協定が締結されたが、本市はどのように関与していく予定か。

答 福祉や介護、教育部門などで、具体的な研究開発の要望を出していただける協議体を合志市として作り、パークマネジメント法人に伝えるルートを確保したい。

問 夢のある話がこのエリアで起きるかもしれないし、子どもたちにとっても非常に良いことだと思うが、市長の見解を伺う。

答 研究、製造の連携協力を民民の間でやっていくと思うが、スマート農業についても話を進めていく。分散型の一翼を担う御代志地区とセットで、時間軸を持って対処していく。



大塚 薫議員

不登校児童生徒への給食提供

問 不登校児童生徒数が増加し長期化する中、他自治体では給食センター等で給食を提供する孤立防止や栄養支援の取り組みがある。本市の不登校の現状と、給食提供の効果への認識を伺う。

答 令和7年度の不登校は319人で長期化が課題だ。給食センター等での提供実績はないが、生活改善や孤立解消、保護者の負担軽減など多面的な効果があると認識する。

問 週1回や月1回など、教育支援センター等を活用した段階的な給食提供の実施は可能か、今後の見通しを伺う。

答 市内4か所の教育支援センターで「親子合同体験活動」のプログラムとして給食提供を組み込めないか、前向きに検討する。

その他の
質問事項

・ディスレクシアへの理解と支援について
・RSウイルスワクチンについて 他



濱元 幸一郎議員

環境問題について

問 今回は大気の問題を取り上げる。県環境モニタリング委員会結果まとめでは、規制外物質のMo（モリブデン）、Te（テルル）がJASM稼働前と稼働後で一時的に上昇している。Mo、Teは健康に重大な影響を及ぼす物質であり、全面的・継続的な情報開示、排出元を突き止め有害物質を排出しない根本的な対策を実施するよう県、企業に求めるべきではないか。

答 セミコン関連企業のMo、Teの使用については法的な排出規制や報告義務の対象外のため把握していない。市としては県モニタリング委員会等と連携し、当該物質の使用状況、排出管理体制について情報共有に努めてまいりたい。

その他の
質問事項

・所信表明について



上田 欣也議員

シェアサイクルについて

問 シェアサイクルサービスなど手軽な乗り物を市内に広く展開できるよう、運営主体と協議を進めるとのことだが、自転車の活用について、自転車と歩行者、また自転車と車がお互いに安全に通行できる道路環境の必要性を、どのように考えているのか。

答 この件に関しては、数年前から事業者側と協議してきたが、まだ事業として成り立たないということで足踏み状態である。今回、

分散型サイエンスパークということで御代志も入れていただき、半導体産業等競争力強化検討プロジェクトの中に、道路交通アクセス部がある。そこで、道路の形態等も含めて、ちょっと検討させていただきたいと思う。

その他の
質問事項

・合志市DX推進計画について
・中枢都市圏地球温暖化対策実行計画について



消防団表彰

本市消防団が、熊本県消防協会の最高栄誉賞である「特別表彰まとい」を受賞しました。

この賞は、毎年、県内45市町村の消防団の中から、『日本消防協会表彰旗』と『消防庁長官旗』の受賞歴に加え、過去の県消防操法大会で3位以内に入賞していることといった厳しい条件を満たした1団体のみに授与される極めて名誉ある賞です。

合志市消防団では、機能別消防団の導入や女性消防団員の加入・活躍により3年連続で団員数が増加しています。さらに、災害に特化した訓練の実施や、地域密着型の防火広報、団員の処遇改善などの改革の推進が評価され、今回の受賞となりました。

授与されました「まとい」はしばらくのあいだ合志市役所1階ロビーに展示してありますので、御来庁の際には是非ご覧下さい。



20周年記念式典

5月30日（土）に、総合センター「ヴィーブル」で『合志市制施行20周年記念式典』が開催されました。

合志吹奏楽団『響』によるオープニングアトラクションでは、ヴィーブル文化会館のリニューアルオープンを記念して作曲された『響き合う街で』など2曲が演奏されました。多くの御来賓や表彰を受けられた方々が出席される中、青木議長も挨拶を述べました。

これまでの20年を振り返りつつ、これからの20年に向けた“未来へ前進”の一歩となりました。



賛 否 一 覧 表

※ 議決結果欄の意味はそれぞれ次のとおり 可=可決 承=承認 同=同意 適=適任 不=不採択
※ 採決結果欄の意味はそれぞれ次のとおり ○=賛成 ●=反対 欠=欠席 △=退席 長=議長 (議長は、議決には加わりません。可否同数となったときは裁決権を行使します。)

令和8年第2回臨時会審議結果（4月30日）

議 案 等 の 名 称			議 員 名	議 決 結 果	議 決 結 果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	賛 成	反 対
				議 決 結 果	中 元 緑	村 上 香 織	大 塚 薫	永 清 和 寛	辻 藍	辻 大 二 郎	後 藤 祐 二	犬 童 正 洋	澤 田 雄 二	齋 藤 正 昭	青 山 隆 幸	西 島 隆 博	後 藤 修 一	濱 元 幸 一 郎	上 田 欣 也	坂 本 武 人	吉 永 健 司	来 海 恵 子	青 木 照 美			
市 長 提 出 事 件	承 認	承 2	専決処分（合志市税条例の一部を改正する条例の制定）の承認	承	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長	17	0
		承 3	専決処分（合志市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定）の承認	承	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	長	16	1	
	条 例	議37	合志市行政手続条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長	17	0
		そ の 他	議38	合志市新学校給食センター厨房機器製造請負に係る物品類売買契約の締結	可	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長	17	0
			議39	総合センター自家用電気工作物等改修工事請負変更契約の締結	可	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長	17	0

令和8年第2回定例会審議結果（6月1日～6月23日）

市長提出議案	条例	議40	合志市手数料徴収条例の一部を改正する条例	可	全会一致																			長	18	0
		議41	合志市営住宅条例の一部を改正する条例	可	全会一致																			長	18	0
	予算	議42	令和8年度合志市一般会計補正予算（第1号）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	長	17	1		
		議43	令和8年度合志市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可	全会一致																			長	18	0
		議44	令和8年度合志市水道事業会計補正予算（第1号）	可	全会一致																			長	18	0
		議45	令和8年度合志市工業用水道事業会計補正予算（第1号）	可	全会一致																			長	18	0
		議46	令和8年度合志市下水道事業会計補正予算（第1号）	可	全会一致																			長	18	0
		議51	令和8年度合志市一般会計補正予算（第2号）	可	全会一致																			長	18	0
		議52	令和8年度合志市工業団地整備事業特別会計補正予算（第1号）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	長	17	1	
		人事	同1	合志市固定資産評価審査委員会委員の選任	同	全会一致																			長	18
	同2		合志市固定資産評価審査委員会委員の選任	同	全会一致																			長	18	0
	同3		合志市教育委員会委員の任命	同	全会一致																			長	18	0
	諮1		人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めること	適	全会一致																			長	18	0
	その他	議47	合志市総合健康センター「ユーパレス弁天」の指定管理者の指定	可	全会一致																			長	18	0
		議48	合志市道路線の廃止	可	全会一致																			長	18	0
		議49	合志市道路線の認定	可	全会一致																			長	18	0
		議50	菊陽町道路線の認定の承諾	可	全会一致																			長	18	0
		議53	合志市総合健康センター「ユーパレス弁天」大規模改修工事請負契約の締結	可	全会一致																			長	18	0
		議54	合生住宅建築工事請負契約の締結	可	全会一致																			長	18	0
		議55	合志市恵楓園運動公園多目的グラウンド・進入路新設工事請負契約の締結	可	全会一致																			長	18	0
		議56	合志市恵楓園運動公園グラウンド調整池設置工事請負契約の締結	可	全会一致																			長	18	0
		議57	合志市恵楓園運動公園野球場新設工事請負契約の締結	可	全会一致																			長	18	0
		議58	合志市恵楓園運動公園野球場設備・屋外トイレ設置工事請負契約の締結	可	全会一致																			長	18	0
		議59	御代志市民センター講堂特定天井改修工事請負契約の締結	可	全会一致																			長	18	0
		議60	財産の取得	可	全会一致																			長	18	0
		議61	財産の処分	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	長	17	1
議員提出議案		意見書	議提1	セミコンテクノパーク近隣における渋滞対策の強化に関する意見書	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長	17	1	
	議提2		すべてのケアラーに対する包括的な支援と法的枠組みの整備を求める意見書	可	全会一致																			長	18	0

令和8年第3回定例会日程（予定）

月	日	曜	会議名	主な内容
9	1	火	本会議	市長提出議案上程及び提案理由説明
	2	水	本会議	一般質問
	3	木		
	4	金		
	8	火	本会議	質疑、各常任委員会付託
			予算決算常任委員会	質疑、各分科会設置・分担付託
	9	水	常任委員会・分科会	付託事件の審査
	10	木		
	11	金		
	16	水	予算決算常任委員会	分科会長報告、自由討議
	25	金	予算決算常任委員会	総括質疑、討論、表決
	30	水	本会議	委員会審査報告（質疑、討論、採決） 追加議案（上程、質疑、討論、採決）

議会広報調査特別委員会

委員長 辻 大二郎 副委員長 中元 緑
委員 辻 藍 委員 永清 和寛
委員 大塚 薫 委員 村上 香織

インターネットで議会の様子をぜひご覧下さい。

合志市議会

検索



ホームページアドレス

https://www.city.koshi.lg.jp/gikai/default.html

編集後記

立秋を過ぎたとはいえ、連日厳しい残暑が続いております。市民の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

今号の表紙は、市内四中学校のうち、まずは二校の生き生きとした学校活動の様子をお届けしています。真剣に、そして楽しそうに何事にも励む生徒たちの姿からは、合志市の明るい未来と豊かなエネルギーが伝わってきます。そんな子供たちの学びや成長を応援すべく、議会でも未来を担う世代へのアプローチを大切に重ねてきました。これまで、私たち広報委員との懇談会、意見交換会やワークショップなどを開催し、若い世代のリアルな声に耳を傾けてまいりました。

今年の五月には、子ども達が議会への理解を深め、親しみをもちつつもらうための取り組みを先進的に行なう自治体を視察しました。そこで得た多くの学びやアイデアを、これからの本市での活動にも生かし、さらに充実させていく決意です。それは、これからの地域社会を担う若い世代の皆さんに、もっと議会を身近に感じてほしいという思いです。議会は一見すると難しく、遠い存在に思えるかもしれませんが、しかし、そこで話し合われているのは、子ども達の学校生活や地域の安全など、すべて彼らの日常に直結する大切なことばかりです。子どもたちの笑顔や純粋な視点は、私たち大人にとっても大きな原動力となります。これからも、皆様と議会をつなぐ「きずな」として、より親しまれ、未来への希望が湧くような紙面づくりに努めて参ります。

（大塚 薫）